

2017 年度 学校関係者評価委員会
議事録

学校法人 滋慶学園
福岡ベルエポック美容専門学校

作成日：平成29年6月21日

議事録作成者：田中 恵

学校法人 滋慶学園 福岡ベルエポック美容専門学校
平成29年度 学校関係者評価委員会議事録

- 1、開催日時： 平成29年6月21日（水） 13：00～15：00
- 2、開催場所： 福岡ベルエポック美容専門学校 601教室
- 3、参加者： 学校関係者評価委員 計15名

【評価委員】

高口 司	業界関係者	株式会社ダリア 本社営業部 次長
小副川 貴久	業界関係者	ビューティビジョン協同組合 理事
金井 良子	業界関係者	(株)リクルートマーケティングパートナーズ マッジ&ファミリー事業本部 ブライダル総研
原口 裕	業界関係者	株式会社サクイプランニング 代表取締役代行
田中 眞太郎	高等学校代表	福岡県立香椎高等学校 校長
大島 弘枝	近隣代表	福岡市大浜公民館 館長
糸山 年枝	保護者代表	保護者代表
金田 芙由	卒業生代表	HAIR MAKE ELOGE 店長

【学校側参加者】

田中 浩一	福岡ベルエポック美容専門学校 学校長
岩村 勇	学校法人 滋慶学園 美容分野 本部長
菅原 大輔	福岡ベルエポック美容専門学校 事務局長
塩原 誠	福岡ベルエポック美容専門学校 事務部長
有田 まどか	福岡ベルエポック美容専門学校 教務部 美容師科 学科長
新島 佑介	福岡ベルエポック美容専門学校 教務部 ブライダル科 学科長
日野 忠大	福岡ベルエポック美容専門学校 キャリアセンター センター長

4、会議概要 【進行：菅原事務局長】

- (1) 各委員ご紹介 ※上記内容ご紹介
- (2) 田中学校長より

福岡ベルエポック美容専門学校学校長に就任致しまして2年目となります。

昨日、大分佐伯で地震が発生。昨年4月14日、16日に熊本地震発生。本校の学生も被害にあった学生もおりました。あれから1年たちますが、被災した方のご冥福をお祈り申し上げます。忘れてはいけないこと。

さて、このたびはご助言やご意見いただく貴重な会議となります。何卒よろしく願いたします。

本校の職員室には「報告・連絡・相談・気遣い」という言葉を掲示しております。その通り報告・連絡・相談・気遣い・心遣いを大切にしております。

また、「シンプル・スピード・イノベーション・執念」という言葉も掲示しております。変化が激しい時代の中、自己成長を行い、4つの信頼（学生・保護者からの信頼、高等学校からの信頼、業界からの信頼、地域からの信頼）を具現化できるよう頑張っております。邁進し学校の質を高めることが重要と考えております。

今後とも何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくおねがいたします。

- ・委嘱状授与 ※委嘱状は後日郵送

(3) 学校関係者評価委員会の目的 【岩村本部長より】

～挨拶～

福岡ベルエポック美容専門学校は美容分野ですが、滋慶学園グループは北は北海道から南は福岡まで約70校の専門学校がございます。

在籍人数は約35,000人、入学者数は約15,000人となっております。

美容分野は福岡・原宿・葛西・札幌の4校あり、現在美容4校の責任者をしております。

尚、美容分野の在籍人数は約2,500人、入学者数は約1,020人となっております。

また、現在美容学校は18歳人口や大学進学率の上昇などの影響で入学者の確保が厳しい現状です。以前2000年原宿校開校時には美容学校ブームで定員の5～6倍という状況でしたが、現在は東京都(約30校)の美容専門学校のほとんどは定員割れの状態です。市場が拡大しているときは学校が足りない状態になりますが、学校が十分な場合は選ばれる学校にならなければならない・・・そのため原宿校ではイノベーションして4年、現在都内1番早く定員がうまる学校となっております。

美容学校が全国ある中で歴史ある学校等もございますが、本校は新参者です。なぜ存在するのか、本校の特色は何かということを一考、特に今年は「本校でなければ嫌だ!」という美容学校、特色をつくることを強化したいと考えております。

最後に昨年の取り組みに対してご評価いただき、また本校としての方針をこのような機会でお伝えさせていただければと思います。

■学校関係者評価委員会の目的について

現在、時代の流れとして専門学校進学者は16%となっております。そんな中、平成31年4月に専門職大学の設立が計画されております。その場合一条校となり今までは比較的自由度が高かったですが、大学と同じような環境の中で教育を行っていくこととなります。そこでは情報公開が重要になります。

<職業実践専門課程>

目的：職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的とし選考分野における

実務に関する知識、技術について組織的な教育を行うものを文部科学大臣が認定。

認定(抜粋)：

- 専攻分野に関する企業・団体等との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っている。
- 企業と連携して、実習、実技、実験または演習の授業を行っている。
- 企業と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っている。
- 評価を行い、その結果を公表している。
- 評価にあたっては、関係者として企業の役員または、職員を参画させている。
- 企業に対し教育活動や学校運営の状況に関する情報を提供している。

実践的な授業や産学連携(企業や業界と連携しカリキュラムに反映)という視点、そして研鑽しているか(教員に対して組織的に・継続的に研修を行っているか)というところが重要なポイントになります。また自己評価→委員の皆様へ評価を頂く(年1回、関係者に運営を評価して頂く)→反映(ご意見を学校運営に生かす)→教育編成→カリキュラム→反映→公開(内容・情報を公開(HP)しているか)という流れをつくることも重要である。

<学校関係者評価の具体的なスケジュール>

- ～5月 昨年度の自己点検・自己評価の実施
- 6月 「学校関係者評価委員会」自己評価結果に関する評価と提言
- 7月～ 本年度事業計画の修正または次年度事業計画に反映

<教育課程編成委員会の具体的なスケジュール>

- ～5月 昨年度の自己点検・自己評価の実施
- 6月21日 「第1回教育課程編成委員会」教育課程の評価と提言
- 6月～ 本年度カリキュラム・学事スケジュールの修正または次年度教育に反映
- 9月21日 「第2回教育課程編成委員会」6～9月までの教育改善の評価と提言
- 10月～ 次年度カリキュラム・学事スケジュール等教育課程の改善

<職業実践専門課程科目>

美容師科・ブライダル科

(4) 平成28年度学校関係者評価を受けての取り組み報告

■重要課題①

「キャリア教育を強化する」

(改善方策)

挨拶・清掃・時間管理の指導を徹底するとともに現場実習やインターン等を通して学生が現場で、挨拶・清掃・時間管理の大切さに気付ける仕組みづくりを行う。

■重要課題②

「1年以内の早期離職を防止する」

(改善方策)

①キャリアセンター・担任が就職先と連携し、ミスマッチを防止する。

②就職講座内の授業で自己分析を実施し、学生個々の就職価値基準を明確化させる。

→離職率(1年以内)3年前17%に対し、2年前は13%に抑えることができた。

皆様に頂いたご意見を反映させていただいた結果となっております。もっと精度高めていきたいと思っております。

■重要課題③

「地域貢献活動を活性化させる」

(改善方策)

大浜地区自治協議会と連携し、教職員および学生がボランティア活動を主体的に行う。

現状は微力ですが、今後はもっと発展できるよう邁進いたします。

(5) 平成28年度自己点検・自己評価及び平成29年度重点目標について

<概要>

■学校名：福岡ベルエポック美容専門学校（2004年4月開校）

■学科（2017年）

- 美容師科（昼2年制）
- 美容師実践科（通信課程併修 昼3年制）
- トータルビューティ科（昼2年制）
- ブライダル科（昼2年制）
- トータルビューティ科（夜間1年制）

■校舎：福岡県福岡市博多区大博町4-17

<H28重点目標について>

- ① 途退学者率2.9%以内
- ② 就職率100%
- ③ 資格取得100%
- ④ 1年以内離職率17.1%以内 を達成するために、

- | |
|--|
| 1. キャリア教育を強化する
2. 1年以内の早期離職を防止する
3. 学校、学科運営力をマネージャーが身につける
4. 会議・研修を学習の機会とし、スタッフ一人ひとりが成長する
5. 地域貢献活動を活性化させる |
|--|

■達成状況

項目	目標	実績（H27年度実績）
美容師科 中途退学者数	4名	9名（8名）
ブライダル科 中途退学者数	1名	1名（4名）
転出者数	9名	4名（11名）
美容師科国家試験	100%	98.4%（98.0%）
就職率（内定率）：3月末時点	100%	100%（92.8%）
離職率（2015年3月卒業生）	17.1%	17.7%（21.5%）

(6) 平成28年度自己評価内容（抜粋）

■1・教育理念

目的：育成人材像

職業人教育を通じて社会に貢献する

実学教育・人間教育・国際教育

→入学生全員がより高い専門性を身につけ、必要とされる資格を取得し、希望する仕事につき永続的に活躍する

→定員充足＋健全な学校経営

◇目標達成に向けての取り組み◇

ひとりひとりを大切にする教育を行っている。

- ・個別サポートの充実（模擬面接、慶生会クリニック等）
- ・教職員の個別支援力の向上

※サポート制度の例

- ・学習サポート：「ステップアップ講座」「放課後補習」
- ・資格取得サポート：「国家試験対策センター」「独自の模擬試験・対策講座」「生涯合格支援」
- ・就職サポート：「キャリアセンターと担任のWサポート」「模擬面接・校内企業説明会」「生涯就職支援」
- ・スクールライフサポート：「担任制度」「慶生会クリニック」「トータルサポートセンター」「学生寮」
- ・学費サポート：「フィナンシャルアドバイザー」「Be学費サポートシステム」「保護者会（学費個別相談）」

■2・学校運営

「意思決定システム」と「学習する組織」

- ・常にイノベーションの視点を持ち社会に受け入れられる学科・サービスを開発・提供する
- ・学生をはじめとした顧客1人ひとりに全力でサービスを提供出来る「スキル」の習得と「分科」の構築を行う
- ・運営会議・全体会議・部署別会議・広報研修・教務研修・TBM・ONOなど

■ 3・教育活動

○教育指導要領

養成目的（卒業後2～3年後の人材像）、教育目標（卒業時なっていてもらいたい像）を明確に定め、1人ひとりに落とし込んでいる。学生・講師・職員に配布し周知している

○MMPプログラム（モチベーション・ミッション・プロフェッショナル）を毎年更新

*やる気・職業人としての使命感・専門的な技能

○法制度、業界の人材ニーズ、競合校などの環境を毎年調査しカリキュラムの見直しを実施。

○養成目的・教育目標達成の為に体系的にカリキュラムを組む。

・カリキュラム・学年目標・取得目標資格・就職分野を明示

○ポートフォリオ作成

自信がない学生が増えている。自信を高めるためにも学生一人ひとりが、「目標」「学習」「生活」の2年間の「履歴」を残すことにより、「達成感」や「自己肯定感」を高める。

○授業アンケートの実施（講師の教授力向上）：

学生に「授業アンケート」を実施し、講師の教授力向上に努めている

■ 4. 教育成果

H28 教育成果と課題		
	結果	課題
内定率	100% 154名希望/154名内定 (卒業生162名)	卒業生就職率(実績95.1%)の向上
中途退学者数(率)	美容師科 9名(5.9%) フライダル科 1名(1.3%)	教育フロー・システムの見直しと個別対応の充実
国家試験合格率	98.4% 62名受験/61名合格	(特に低学力者に対する)個別対応の充実

■ 5. 学生支援

担任とキャリアセンターが連携して一人ひとりの学生に対し、満足度の高い就職支援を行っている。(学内での就職説明会・ガイダンスも実施)

提携医療機関「慶生会クリニック」(内科・歯科)やメンタルでもサポートを行う機関もありスクールライフもサポート致します。

また下記の通り保護者との連携も実施しております。

入学前 毎週	オープンキャンパス保護者会	支援体制・サポート制度等
入学前 4月	新入予定者保護者会	支援体制・サポート制度・スケジュール等
入学式	保護者会	学園理事長より学園全体でのサポート制度等説明
4月	学科学年別保護者会	カリキュラム等説明・個別相談
	在学中、出席状況や学習状況等に応じて随時保護者と連携	
10月	美容師科2年保護者会	国家試験合格に向けての説明会、個別面談
卒業式	保護者会	学園理事長より卒業後のサポート制度等説明
卒業後	「生涯就職支援システム」：個別相談⇒再就職支援	

■ 6. 教育環境

- ・国際教育：毎年夏に実施。世界の第一線で活躍するアーティストが来校。
- ・ベルエポックコンテスト：毎年11月に実施。昨年はヘアスタイリスト部門とヘアメイクアーティスト部門で最優秀賞受賞！
- ・2017年学園祭実施報告

日時：6月10日(土)、11日(日)11:00~16:00 福岡ベルエポック美容専門学校 学内にて
 <内容> ※全学生が参加し、準備から当日運営まで学生が考えて実施

美容師科：ヘアサロン

トータルビューティ科：メイクサロン・エステサロン・ネイルサロン

WEGO とのコラボショップ/ワークショップ

ブライダル科：ドレス体験

ショー：学生ショー、東京青山の美容室 NORA 様のショー&カット体験

※業界とのコラボレーションを今年度は実施。また、お客様の意見を授業でフィードバックし授業で活かしております。

<来場者>

【来場者数】※地域の方など、一般来場者が増えている傾向。

6月10日				6月11日			
高校生	保護者	一般	計	高校生	保護者	一般	計
70名	41名	150名	261名	86名	34名	268名	388名
昨年 77名	41名	119名	237名	昨年 102名	31名	114名	247名

【来場者アンケート結果】

満足	5	4	3	2	1	不満足
	760名	9名	5名	0名	3名	

【学生アンケート結果】

自己評価 良い	5	4	3	2	1	自己評価 悪い
	106名	62名	34名	2名	2名	

■ 7. 社会貢献

- 24時間テレビ（愛は地球を救うボランティア）
- 老人ホーム：エステボランティア（ネオステージ博多）
- メイク講座（博多高等学園）

<平成29年度重点目標>

- ① 入学者数 200名以上
- ② 進級率 90%以上
- ③ 就職率（内定率）100%※卒業式
- ④ 年以内離職率14.9%以内 を達成するために、

1. 新たな価値の創造

「最新の美容・ファッションを福岡ベルで学ぶ」

- ①東京・関西・福岡および九州各地サロンとの連携
- ②東京体験プログラムの導入

2. 組織力の向上

プロジェクトリーダーの経験を通じて自ら成長する。

2泊3日で東京研修実施（東京/原宿）※サロン体験実施

～ご意見・ご質問～

- ・高口様：現在のサロンでは時代の変化が早く、新しいメニューが増えたりと覚えることが多い。
（マツエク、ネイル、ヘッドスパなど）また、売上が厳しいサロンも多い。さらには労働環境の改善に力を入れるサロンも多い。そんな中、物販に力を入れるサロン多い。そこで必要なのが、物販力・コミュニケーション力が重要で求められる。
必須科目でないにしろ取り入れることもよいのではないのでしょうか。
◎Q：離職率成果上げているが、卒業生に対してどのように追いかけているですか？
A：担任・キャリアで人に電話確認。
◎Q：離職率の定義はなんですか？
A：業界を離れた場合離職とする（同じ業界内で働いていたら離職としない）
※卒後入職したところを離職した数も一緒に出すのもよいかもしれない
※サロンに出向いて確認するのもよいかも（サロンに行く専門学校もある）
→サロンは求人困っているのでは就職担当者との接点もつ事は喜ぶと思う。
※在学中の教育が重要。

- ・小副川様 問題が解決に向かっており、成果も上がって内容も素晴らしい。
ただ気になったことは職員の研修に関して。
今回の報告は学生の教育が主だったので職員の教育を重要視してないように感じた。
自社では誰が教える（人間性を教えている）ということを重視している。
学生のコミュニケーション力（相手意識、表現力、観察力等）を上げるためには職員が見本。
数値として現れないものをどういう方法で育てているのか、閉鎖された社会で職員に対するアプローチが少し疑問に思いました。
また学生は挨拶をしたり、しなかったり、同級生との接し方では学べない、先生への接し方で学べることをどのように取り組んでいるか知りたい。
指導要領の「講師の先生方へのお願い」をどのくらいの頻度でチェックしているのか等決めるとよいと思う。
→本校より回答：
学園内では担任に対する研修や職員全員に関してのカウンセラー研修、キャリアカウンセラー研修を実施。学内で挨拶を徹底できていない現状。技術面も含め、頂いた意見を反映させていただきたい。

- ・金井様 非常にきめ細やかな取り組みで特に養成目的すばらしい。
◎Q：就職先の選び方やマッチングはどのようにしてますか？（BR）
A：1年時に企業説明会で業界を知り、現場実習で職業理解を高めております。
土日にアルバイトの斡旋も実施。知識を深める為、知る→経験→就職講座の授業中に求人情報を紹介するなど選択肢をひろげている。またOG、OBにきていただき、講話を行っていただくことでミスマッチがないようにしております。
◎Q：学生の就職先の見る観点は？
A：印象・雰囲気・好みからスタートすることが多い。また、先輩の影響が大きい。
現場実習にて働いてみて体感で合う、合わないを感じることも多い。
◎Q：現場実習は複数の会場に行くのですか？
A：複数に行く。幅を多く持たせている。
アドバイス：ブライダル業界は現在定着が課題。CSではなくESを高めようという動きである。その為、経営ビジョンが大事になってくる。
→マッチングの際にこのような観点をするとよいと思う。

②プロジェクトリーダー力は在学中身に付けれるカリキュラムになっているか？

学園祭などは学生が企画・準備・運営しているとのことでしたが、組み立てする力、チームビルディング力を高めてほしい。

◎Q：(田中校長より) 授業の中の評価基準に企画力にありますか。

A：コミュニケーション力を重視した授業はあるが企画力を重視した授業はない

→(田中校長より) 高校では取り入れている

学生が企画する授業を入れるのは興味関心企画力を高めることが出来る。

興味関心企画力が100点、点数100点で200点満点としている。

どの教科もプレゼンテーション力が必要。(佐賀県が一番進んでいる)

専門学校でも取り入れてみてはいかがですか。→後日高校へ視察予定。

社会での評価に近い評価を学校でもすべきである。

また古典と体育等横断的なカリキュラムもある。

本校田中学校長より：

講師の先生方へも指導力をまず高め、次は評価方法を伝えたい

- ・原口様 ブライダル業界では離職率で頭が痛い。サービス業界は労働環境を法廷通りすることがスムーズにいかない。年々難しくなっており、離職率高まっている原因のひとつでもある。環境の整備と育成のバランスが難しい。

悩みとしては、理解力やコミュニケーション力が高い人材を迎え入れたい。

言ったことが伝わっているのかわかりにくい人材が増えてきた。

チームで行う仕事なので理解力が重要である。

表現も苦手な人が多い。コミュニケーション力を高める授業を取り入れてほしい。

→本校からの回答：

コミュニケーション力は本校でも課題としております。

環境や人が変わっても適応能力を養ってほしいといろいろなチームを組んでその時その役割で成長できるような授業を取り入れてます。

社会で経験するまでに理解を深め、社会にでてほしいと思っています。

仕事の現状を伝え、社会で通じるように現場実習等でも情報共有を大切にし企業様と協力しております。

社会でのギャップやミスマッチがないよう企業様と一緒に育てていけたら幸いです。

- ・田中様 高校は本日の内容のようなコンセプトを知りたい
来校してもらうのではなく、高校に訪問してコンセプトを伝えるべきである。

◎Q：東京研修は全員ですか？

A：希望者のみ。入学時に預金として納入している。

→ 高校では参加はオーディションで学校が費用は負担(10名のみ/120名)
学校オリジナルのプログラム。

人数絞ってオーディションすることによりみんなが頑張る。

高校時代にもプレゼン力・コミュニケーション力を高めている。

また、今年度専門学校で東京には6名進学した。

このような内容を行うと、自分が行かなければいけないことが見えるようになる。

- ・大島様 近隣高校に来ていただき、メイクを行い大変喜ばれた。今年度もお願いしたい。
コミュニケーション力が低く自分の意志を言えない人も増えている。
公民館では挨拶から入って挨拶におわるようにしている。
福岡市も挨拶に力を入れている。
ただ、親が挨拶しないから子供も難しい。
コミュニケーションを高めるために地域をぜひ使ってほしい。

サロンワークのモデル等も昨年喜ばれた。対話を多くできる人材をつくってほしい。また学園祭の日程が急でしたので今後は早めに教えていただきますと公民館を窓口でPRいたしますのでお知らせください。

- ・糸山様
現在娘が就職活動最中で東京に行きたいと言っている。
しかし、サロンがわかってない。
サロン実習まではいけたがどう動いたらいいのかわからないと言っていた。
また学園祭のサロンワークを通して実習での失敗に気づいたとのことだったので、模擬サロンでもっと明確にわかっていればサロン実習で力が発揮できたかとも思いました。学園祭のような実践的な動けるカリキュラムをもっと増やしてほしい。そうすると、福岡ベルの学生はすごいと感じられるのではないのか。
→教務より回答
1年次アカデミー（学内サロン）にて土曜日にサロンワークを行っておりますが、正直、お客様の数よりスタッフの数の方が多い時などもございます。
サロンワークをただ行うだけでなく、今回のご意見を参考にさせていただき、在り方、集客の仕方等工夫していきたい。
→就職担当より回答
東京のサロンは昔と違い、挨拶や話ができる、スタッフとのコミュニケーション力が重要で重視しております。（リーダーシップをとりながら他受験者にもどう気遣いができるか等）また、オーナーが独断できめるのではなく、アシスタントの意見を取り入れているサロンや美容サロンが育てるという意識も増えてきております。
このような内容をしっかり学生にも伝えていきたいと思っております。

- ・金田様
離職・中退など成果が出ていてすごい。毎年改善していて成果を実感でき嬉しい。サロンでは離職が悩みである。
学生は何をやってどうしたいかの意志のつくることが難しいので相談できる環境を強めてもらうと自信をもてる学生も増えるのではないのか。

■塩原さんよりまとめ

①美容師科・TB科サロンワークサロン実習

しっかりスタッフとのコミュニケーション力、お客様とのコミュニケーション力そして、リーダーシップ力、気配りができる人材を育てるサロンワークのあり方を検討したい。
また、集客も意識するような内容も検討したい。

②地域との連携

情報をしっかり伝えて、いろいろな機関を紹介いただき地域に貢献できるようネットワーク力を高めたい。

③チャレンジしたい

研修参加をオーディションにするなど新しいことにも挑戦したい。
エリート教育を取り入れる（学校負担）など学生が成長できる仕掛け作りも検討したい。

④キャリア教育

プロジェクトマネジメント力・企画力・問題解決力などをどう育むかを意識した科目を検討したい。また評価の在り方も見直したい。

⑤ スタッフの研修

今回、学生の取り組みが中心だったのでスタッフの研修、学校の運営教員力をどう高かめるか整理してお伝えしたい。計画と実行をしっかり行い、次回報告致します。

～お知らせ～

- ・次回開催予定時期のご案内

平成30年6月中旬・・次年度に関しては追ってご連絡します。

- ・持ち帰り資料の中に記入後返信書類有　・・・7月14日（金）までご返送くださいませ。

- ・評価表（1言コメント）

- ・振込み依頼書

- ・教育課程編成委員会

平成29年9月21日（木）

10：00～12：00美容師科教育課程編成委員会

13：30～15：30ブライダル科教育課程編成委員会

～学校長より～

貴重なご意見ありがとうございました。一年間かけて改善したいと思います。

また視察等ご依頼させていただいた際は、ご協力いただきますようお願い致します。

今後とも何卒よろしくお願い致します。